

2025 年度 公益財団法人田口福寿会事業計画

近年、地域社会における人々の暮らし方や働き方、価値観が多様化し、他人を思いやる心、「互助」「共助」の精神が薄らいできていると言われております。加えて急速に進行する人口減少の中で、財政も厳しさを増し「公助」の力の低下が危惧されており、民間の公益事業に対する期待が高まっております。

そんな中、ロシアのウクライナ侵攻やパレスチナでの軍事衝突が続き、それらの影響とともに、長期にわたる円安により、国内では急激な物価上昇が続いており、当財団が支援する多くの人たちにも大きなダメージを与えています。

当財団は、昭和 42 年に設立されて以来、基本理念であります相互扶助の精神に基づき、福祉、教育、芸術文化、スポーツなどの各分野にわたって助成をしてまいりました。

とりわけ 2018 年以降、給付型の奨学金の充実に力を入れており、ひとり親家庭の高校生向け奨学金「田口育英金」を増額・増員するとともに、ひとり親家庭の大学生や児童養護施設退所者等への奨学金を創設し支給額の増額など充実に努めてきました。

今年度は、田口福寿会夢奨学金の支給額の増額、小学校へ教育図書を寄贈する田口文庫事業での電子図書の導入や、岐阜県社会福祉協議会に「福寿子ども基金」の設置助成などを計画しており、引き続き相互扶助の精神に基づいてその他の各種助成事業も強化する予定です。

その総事業費は 13 億 5,492 万円であり、前年度予算額に比べ 7,200 万円の増となっております。内訳は次のとおりです。

事業	内 容		予 算 額
1. 育英奨学事業	1. 田口育英金の支給	岐阜県内に在住し、高校への進学、就学を望みながら、主に経済的理由のために進学、就学が困難なひとり親家庭（両親ともいない家庭を含む。）の生徒及び児童養護施設等に入所もしくは里親等に委託中の生徒に対して育英金を支給する。	5 億 2,596 万円
	2. A F S 奨学金の支給	岐阜県内に在住し、かつ県下の高校・高専に在学する A F S の年間留学生に対して奨学金を支給する。	500 万円

1. 育英奨学事業	3. 田口福寿会奨学金の支給及び奨学生交流会等の開催	当財団が指定する岐阜県内の公立高等学校の卒業生で、国・公立大学へ進学をし、ひとり親家庭等のため、学費の支弁が困難な学生に対して奨学金を支給する。また奨学生交流会やガイダンス等を開催する。	1 億 1,284 万円
	4. 田口福寿会夢奨学金の支給及び奨学生交流会等の開催	岐阜県内の児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設又は自立援助ホームに入所中またはこれらを退所した者もしくは里親又はファミリーホームへ委託中または委託を解除された者で、国内の大学等へ進学をし、保護者等からの経済的支援が見込まれず、学費の支弁が困難な学生に対して奨学金を支給する。また奨学生交流会やガイダンス等を開催する。	3,412 万円
2. 助 成 事 業	1. 福祉・教育・芸術文化・スポーツ及び地域社会の発展振興につながる事業に対する助成	福祉・教育・芸術文化・スポーツなどの各分野において公益性が高い事業及び地域社会の発展振興に効果的に貢献できる事業を行っている岐阜県内の団体等または県内で事業を行っている団体等に対して助成する。	6 億 100 万円
	2. 田口文庫の寄贈	岐阜県下の公立小学校ならびに特別支援学校に対し、学校教育の充実と学習環境の向上を目的として、学校が希望する図書を寄贈する。 (寄贈校は輪番方式で選定する) また、岐阜県下の公立小学校ならびに特別支援学校に電子図書 (school e-Library)を導入する。	7,600 万円
事 業 費 合 計			13 億 5,492 万円